

実施計画書 兼 事業説明書

【政策5：生活基盤整備】

安心して快適に暮らせるまち

【施策5-1】 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

【施策5-2】 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

【施策5-3】 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

【施策5-4】 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

◆ミッション

人口減少、少子高齢化の進展による社会構造の変化に対応した多極ネットワーク型コンパクトシティによるまちづくりを推進し、市内全域の利便性を高めるとともに、昨今、多発する自然災害対策に積極的に取り組み、地域防災力の向上を図ることで将来にわたって市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進める。

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

◎災害に強いまちづくりを進める。

◆方 針

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

利便性の高い都市づくりのため、公共交通の利便性が高い小諸駅・市庁舎周辺地域において、生活に欠かせない都市機能施設の集約・誘導を、様々な主体との公民連携により取り組むとともに、市内のコミュニティ交通の改善や広域的な幹線交通の維持に努め、持続可能な交通ネットワークの構築を行う。

そして、「居心地のよい、ひらかれた」付加価値の高い都市づくりに向け、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる公共交通の利用促進に取り組む。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

市民の生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備・修繕は、将来にわたる持続可能性を考慮した長寿命化計画に沿って着実に進めるとともに、社会基盤の整備を行うことにより移住・定住の促進を図る。

公民共同企業体「株水みらい小諸」への一部業務委託による上水道事業は、民間事業者のノウハウを活用しつつ業務管理を厳格に行うことで、安全で良質な水の安定供給と事業の安定経営を維持する。

◎災害に強いまちづくりを進める。

災害発生時には、人命を保護することが最も優先されなければならない。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、限られた資源で効率的・効果的に強靱化を図るとともに、自身の安全を守る「自助」、地域のつながりを大切にしたい助け合い「共助」の意識を高めるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-1	多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

所 管	都市計画課
関 連	施設管理室
関 連	高齢福祉課
関 連	商工観光課
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

立地適正化計画に基づき、利便性が高く、多様性に富んだ活動や交流を促進する、新たな都市づくりへの転換に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備など、利便性の高い拠点形成を図るとともに、交通ネットワークの構築に向け、高齢者を中心に利用が広がっている「こもろ愛のりくん」の持続可能な運行への改善を行う必要がある。

そして、利便性に加え、“居心地のよい、ひらかれた”都市としての付加価値を高めるため、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用促進等に取り組む必要がある。

◆方針

目的
利便性の高い拠点形成のため、令和3年8月供用開始に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備を着実に進めるとともに、民間投資を意識した、都市機能施設の誘導を公民連携により取り組む。また、交通ネットワークの構築に向け、市内の公共交通においては、「こもろ愛のりくん」の利便性と効率性の両立を図るよう、他の公共交通や市民主体の移動サービスとの連携を図りながら、運行改善を実施するとともに、広域的な公共交通においては、鉄道・バス等の幹線交通の維持のため、引き続き、運行事業者との連携・支援を行う。そして、“居心地のよい、ひらかれた”新しい都市づくりとしての付加価値を高めるため、公園や文化施設、駅施設などの公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策を包括的に実施する。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

○複合型中心拠点誘導施設整備を着実に推進し完了させる。

○「こもろ愛のりくん」を中心としたコミュニティ交通の運行改善等を行う。また、高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策を講じる。

○鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者と連携・支援を推進する。

○大手門公園最終工区の整備完了。大手門公園とあいおい公園の活用促進

○都市機能施設や公共的空間などを基盤に、官民連携による中心拠点の形成を促進するための、人材集積の場の形成や将来像の策定活動を実践する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①公共交通の利便性が高い、小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まっている状態。
②交通ネットワークの構築に向け、「こもろ愛のりくん」が、利便性と効率性とを両立して運行している状態。
③小諸駅・市庁舎周辺地域における公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策の実施が包括的に行われ、“居心地のよい、ひらかれた”都市づくりへの転換が進んでいる状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用頻度						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、「こもろ愛のりくん」による利用割合が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度①】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	22.6	計画	23.0	30.0	35.0	40.0	
		実績					
指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、市営駐車場の駐車台数が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度②】						
算式						単位	台
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1,510	計画	1,510	2,000	3,000	3,000	
		実績					
指標名	こもろ愛のりくんの年間利用者数						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上すれば、利用者数が増加するため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立①】						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54,145	計画	55,000	56,000	58,000	60,000	
		実績					
指標名	こもろ愛のりくんの収支比率						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上し、利用者数が増加するとともに、効率化を進めることにより、収支比率が改善され、利便性と効率性の両立が図られるため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立②】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	13.0	計画	14.0	20.0	22.0	25.0	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 複合型中心拠点誘導施設整備を着実に推進し完了させる。
- 「こもろ愛のりくん」を中心とした持続可能なコミュニティ交通の構築に向け、運行改善等を進めるとともに、高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策を講じる。
- 鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者と連携・支援を推進する。
- 大手門公園最終工区の整備完了させ、大手門公園とあいおい公園の活用を促進する。
- 都市公園、都市緑地等の適正な維持管理を行う。
- 小諸駅周辺駐車場の適正な維持管理を推進し、利用促進に努める。
- 都市機能施設や公共的空間などを基盤に、官民連携による中心拠点の形成を促進するために、人材集積の場の形成や将来像の策定活動に取り組む。
- 市民の景観や緑地に対する意識の高揚と協働による活動意識の高揚を図るため、景観形成や緑化活動等に参加する場の創出や提供を推進する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

- ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
高齢者や交通弱者のニーズに配慮した安全で利便性の高いコミュニティ交通の構築により、高齢者を中心とした道路交通事故の抑制に寄与する。
- ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」
中心市街地に設置された公衆用トイレを適切に維持・管理し、市民や来訪者に快適な衛生環境の提供を図る。また、徒歩による回遊性を高めるために、まちなかで快適に利用できる衛生環境の整備を推進する。
- ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
立地適正化計画に基づき、利便性と快適性を備え、かつ、歩いて回遊できる快適な都市空間を醸成し、市民や来訪者の交流が生まれ、移住・定住に繋がる魅力あるまちづくりを進める。

◆個別計画

都市計画マスタープラン／立地適正化計画／地域公共交通網形成計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
都市計画総務費運営費		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更、指導 小諸市都市計画審議会の運営 都市計画マスタープランおよび立地適正化計画に基づく、事業の検討と調整 宅地造成等規制法に基づく、大規模盛土造成地等の宅地の安全確保の推進 都市再生特別措置法に基づく、低未利用地の流動化の推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	12,931 千円	5,300 千円	5,300 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,769 千円	16 千円	16 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	339 千円	203 千円	203 千円	
	一般財源	10,823 千円	5,081 千円	5,081 千円	
目的	市内の各地域のエリア価値の向上に資する、都市計画関連法に基づく手続きを適正に進めること				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 土地利用・都市施設の見直しのための調査検討や開発行為の調整を行う。 都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の更新に必要な調査検討を行う。 大規模盛土造成地等宅地の安全性を把握と今後の事業計画をまとめる。 都市計画基礎調査を円滑に実施する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	都市計画法に基づく開発行為(建築工事)の調整件数	回	10	10	10
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中心拠点形成促進事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 複合型中心拠点誘導施設整備による都市機能の集約 大手門公園最終工区(駐車場跡地)整備など中心拠点の公共空間の活用 民間の様々な主体と連携した拠点形成の促進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	861,521 千円	30,000 千円	30,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	111,194 千円	15,000 千円	15,000 千円	
	地方債	379,600 千円	13,500 千円	13,500 千円	
	その他	251,257 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	119,470 千円	1,500 千円	1,500 千円	
目的	多極ネットワーク型コンパクトシティの中心拠点となる小諸駅・市庁舎周辺地域において、“利便性の高い、居心地のよい、ひらかれた”都市づくりに必要となる社会基盤の整備を進めるとともに、社会基盤を活用した官民連携による拠点の形成を促進する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 複合型中心拠点誘導施設の整備完了 大手門公園最終工区の整備完了と大手門公園とあいおい公園の活用 官民連携による拠点形成を促進するため、“場(プラットフォーム)”の形成と“将来像(エリアの未来ビジョン)”の策定 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用頻度	%	30	35	40
	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数	台	2,000	3,000	3,000
特記事項	令和3年度から事務事業名の変更(国の補助事業名の変更への対応)				

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸駅周辺駐車場管理事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無		
事業概要	・市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,515 千円	6,515 千円	6,515 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	5,984 千円	5,984 千円	5,984 千円		
一般財源	531 千円	531 千円	531 千円		
目的	・適正な点検・管理により、駅周辺の市営駐車場としての利便性を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・常時良好な状態に保つように維持管理を行う。 ・市営小諸駅駐車場及び大手門公園有料駐車場の駐車台数、収入額等の分析を実施するとともに、利用方法等について検討する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場施設の定期点検回数	回	12	12	12
特記事項	緊急連絡機器の定期点検回数				
	回	12	12	12	12
令和3年度から事務事業名の変更。(集約駐車場管理事業が施設管理室へ移行されたことによるもの)					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
交通政策費運営費		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)への負担金の交付 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備への負担金の交付 ・千曲バス佐久上田線への補助金の交付 ・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行 ・JR小海線各駅の附属施設(トイレ、駐車場・駐輪場)の維持管理 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	77,292 千円	66,940 千円	66,226 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	21,000 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	56,292 千円	66,940 千円	66,226 千円		
目的	幹線的な公共交通(鉄道・路線バス)の維持・確保により、広域的な交通ネットワークの構築を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)の継続 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備の継続 ・千曲バス佐久上田線へ支援継続 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸駅(しなの鉄道)の年間乗降客延べ人数	人	1,190,000	1,190,000	1,190,000
特記事項	小諸駅(JR小海線)の年間乗降客延べ人数				
	人	540,000	540,000	540,000	540,000
R1～R9しなの鉄道車両更新(9年間 負担額合計 1億4千1百万円)					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公共交通事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	2:有		
事業概要	予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を基本としたコミュニティ交通の運行				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	80,130 千円	75,000 千円	75,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	296 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	79,834 千円	75,000 千円	75,000 千円	
目的	利便性と効率性を両立した持続可能な市コミュニティ交通を運行し、市内の公共交通ネットワークを構築するため				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「こもろ愛のりくん」の運行改善の実施 ・高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策の実施 ・「こもろ愛のりくん」の包括的な利用浸透策および様々なニーズに柔軟に対応する試験運行の検討・実施 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	こもろ愛のりくんの年間利用者数	人	56,000	58,000	60,000
特記事項	こもろ愛のりくんの収支比率	%	20	22	25

事務事業名				新規・継続
都市計画総務費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費				都市計画課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		66,280 千円	66,280 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		66,280 千円	66,280 千円	
事務事業名				新規・継続
県街路事業				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費				都市計画課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		0 千円	10,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	10,000 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	建設課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

社会基盤である道路や橋梁、河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、事業要望による生活道路の整備や幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全など、計画的な整備ができていない状況にある。このような状況のなか、生活道路の整備は、新設や拡幅改良などは必要箇所の精査により道路整備を実施することとし、生活に密着した維持修繕として対応する必要がある。また、舗装改良や橋梁の修繕・耐震補強は、長寿命化修繕計画に基づき、より効果的に進める必要がある。

◆方針

目的
市民生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備において、生活道路の新設や拡幅改良は、評価項目に基づき、効果的で効果のある整備を計画的に行い、即効性のある維持修繕を主体的に行い道路の安全性を確保する。また、幹線道路の舗装改良は長寿命化修繕計画に基づき計画的に行う。 橋梁修繕等の整備は、将来への持続を考えた長寿命化修繕計画に基づき、効果のある整備を行う。

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- 社会基盤整備として、長寿命化修繕計画に基づき、舗装改良及び橋梁の修繕を行う。
- 生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持・長寿命化と通行の安全性の確保を図る。
- 特定空家等の解消のため、所有者に対し指導を行い、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。
- 老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①生活道路の維持・修繕を行い、通行の安全性が確保された状態。 ②橋梁及び横断歩道橋が、長寿命化修繕計画に基づき適正に維持管理されている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修、維持修繕への対応割合						
設定理由	市民生活に密着した道路機能維持のため。						
算式	実施数／要望数					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	46	計画	50	50	50	50	
		実績					
指標名	生活道路の維持・補修に対する市民満足度						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式	市民意識調査					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	45.5	計画	47	48	49	50	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 社会基盤整備として、舗装長寿命化修繕計画、橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、施設の長寿命化、コストの削減を目的に舗装改良及び橋梁の修繕を実施する。
- 生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持長寿命化と通行の安全性の確保を図る。
- 特定空家等の解消を図るため、所有者に対し粘り強く指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。
- 老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。
- 地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。
- 国土地籍調査は、引き続き4地区の調査を行い、1地区の登記を完了させる。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
 社会基盤の整備として、道路や橋梁等の維持・修繕を行うことにより、安全性が確保され快適に暮らせるまちづくりを推進する。

◆個別計画

舗装長寿命化修繕計画／橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画／トンネル長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／空家等対策計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
国土地籍調査事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・1土木管理費・2国土調査費		建設課	1:無		
事業概要	地籍調査未実施地区18km ² において ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	61,885 千円	69,000 千円	58,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	29,715 千円	32,250 千円	26,250 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	10 千円	10 千円	10 千円		
一般財源	32,160 千円	36,740 千円	31,740 千円		
目的	社会基盤の整備を効率的に進めるために、明治時代に作られた地図(土地の境界や測量が不正確な部分がある地図)を正確な地図に作り替える。				
令和3年度の目標					
令和2年度継続事業の中央10区、中央11区、中央12区、更に中央13区を新規着手する。 令和2年度に認証された中央9区の成果を法務局に送付し登記完了する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	境界立会いする面積	ha	25	39	25
登記完了する地区数	地区	1	1	1	
特記事項	平成27年度以降の境界立会い実施地区(中央4区以降)については、人口集中地区(DID)のため土地所有者の権利意識が強く、境界立会いに難航することが多くなっている。また、新型コロナウイルス感染症対策により、県外土地所有者の境界立会いを予定どおりに行うことが出来ず、事業遅滞が懸念される。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
道路台帳補正業務費		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費		建設課	1:無		
事業概要	・道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・すでに道路として利用されているが、所有権移転がなされていない認定道路敷地(未登記道路)が存在しており、その部分の寄附をいただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	16,771 千円	24,074 千円	17,026 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	16,771 千円	24,074 千円	17,026 千円		
目的	・市民の安全安心を確保するために、道路の現況を正確に把握する。 ・適切な管理を行うため、未登記道路敷の解消を図る。				
令和3年度の目標					
道路台帳補正漏れを把握するとともに、工事による変更を正確に反映させ、適正に補正を行う。 未登記道路敷70筆の解消を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	正確な道路台帳の補正	回	1	1	1
未登記解消筆数	筆	70	70	70	
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市道維持補修事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無		
事業概要	パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	47,930 千円	47,930 千円	47,930 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	5,608 千円	5,608 千円	5,608 千円		
一般財源	42,322 千円	42,322 千円	42,322 千円		
目的	道路を常時良好な状態にたもつように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないよう、適切な道路の維持修繕を行う(道路法第42条第1項)				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・道ぶしんクリーン事業・ごみゼロ活動への参加を推進する。 ・施設破損個所の30日以内での作業完了率を90%以上にする。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	68	68	68
特記事項	施設破損個所の30日以内での作業完了率				
		%	90	90	90
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市道除融雪事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課	1:無		
事業概要	指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	56,962 千円	82,746 千円	82,746 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	56,962 千円	82,746 千円	82,746 千円		
目的	積雪や凍結による道路での危険を排除することで、利用者の安全性と地域で暮らす満足度を向上させる。				
令和3年度の目標					
業務目的を、協力業者との調整と地域の応援体制の喚起により達成する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	除融雪実施路線の延長	km	216	216	216
特記事項	業務への協力業者数				
		事業所	36	36	36
特記事項	H28年度除雪担当業者24社・凍結防止剤散布担当業者10社(3社兼務) H29年度除雪担当業者30社・凍結防止剤散布担当業者10社(4社兼務) ■H31年度計画より、活動指標に「業務への協力業者数」を追加(協力業者数は業務量に影響し、これを確保することが業務の早期完了に繋がるから)				

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市単道路等整備事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有			
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び各長寿命化修繕計画等による事業の推進 ・市道の用地測量、詳細設計等の業務委託 ・市道の道路改良、舗装改良、側溝改良等の工事 ・市道の舗装修繕、側溝修繕等の工事 ・道路用地等の買収、工作物等の移転補償					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	215,278 千円	233,230 千円	233,230 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	58,500 千円	72,000 千円	72,000 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	156,778 千円	161,230 千円	161,230 千円			
目的	区からの建設事業申請箇所について効率的・計画的に市道の道路改良、舗装改良、側溝改良、維持補修等を行う。また、道路施設の長寿命化及び修繕を行い、持続可能な道路網の構築を確保する。					
令和3年度の目標						
○改良申請箇所は、総合的に検討し優先順位に基づいた道路改良工事の実施 ○維持補修申請箇所は、速やかな修繕工事の実施 ○各施設の長寿命化修繕計画に基づいた修繕工事 ○佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会、長野県及び佐久市等と連携し佐久平駅アクセス道路の整備構想の策定						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	生活道路の新設、改良申請実施率(実施数/要望数)	%	20	20	20	
	生活道路の維持・補修、維持補修申請実施率(実施数/要望数)	%	60	60	60	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
市単河川整備事業		継続	8			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無			
事業概要	・準用河川N=10箇所、普通河川N=3箇所の未整備箇所及び老朽化した護岸等の河川整備工事 ・上記河川の維持管理工事					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	10,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	0 千円	8,000 千円	8,000 千円			
目的	近年全国的に多発している豪雨災害による被害を少なくするため、国土強靱化を図り、着実に護岸整備等の河川改修及びしゅんせつ工事等の維持管理を実施する。					
令和3年度の目標						
○(準)松井川・(準)栃木川の護岸整備計画の策定及び護岸整備 ○(準)北川等のしゅんせつ工事						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	安全な河川対策、施工延長	m	20	20	20	
特記事項						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市単交通安全通学路整備事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び通学路点検の要対策箇所等の事業の推進 ・歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事等				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円		
目的	区からの建設事業申請箇所、通学路要対策箇所の歩道整備等の安全対策を行い、危険箇所の解消を図る。				
令和3年度の目標					
○歩道設置工事 N=3件 ○令和元年度通学路点検箇所 N=27箇所のうち19箇所					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	通学路合同点検に基づく実施率(実施数/要望数)	%	60	60	60
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
道路メンテナンス事業(老朽化道路インフラ)		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有		
事業概要	・橋梁、横断歩道橋及びトンネル長寿命化修繕計画に基づく詳細設計、修繕工事 ・道路法施工規則に基づく道路施設の定期点検				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	214,000 千円	294,000 千円	284,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	117,700 千円	161,700 千円	156,200 千円	
	地方債	78,500 千円	105,300 千円	97,200 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	17,800 千円	27,000 千円	30,600 千円		
目的	小諸市の管理する今後老朽化する道路構造物の増大に対応するため、策定した各施設の長寿命化修繕計画において橋梁等の長寿命化並びに修繕に係る費用の縮減を図りつつ、道路網の安全性・信頼性を確保する。				
令和3年度の目標					
○小原黒第一橋の詳細設計、狐原橋ほか3橋の補修工事 ○狐原橋ほかN=50橋の点検委託及び直営点検 ○赤坂トンネルの詳細設計 ○0114横断歩道橋の補修工事					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	老朽化した橋梁、横断歩道橋及びトンネル修繕実施箇所数	箇所	2	2	2
	定期点検要領に基づく定期点検の実施率	%	60	80	100
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災・安全交付金事業(舗装修繕)		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	・舗装長寿命化修繕計画に基づいた、幹線道路の舗装修繕工事				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	45,000 千円	180,000 千円	180,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	22,500 千円	90,000 千円	90,000 千円	
	地方債	20,200 千円	81,000 千円	81,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,300 千円	9,000 千円	9,000 千円		
目的	舗装長寿命化計画に基づき適切な道路管理を複合的にを行い、安全で快適な道路環境整備を推進する。				
令和3年度の目標					
○市道0141号線(千曲ビューライン谷地原) ○市道0141号線(千曲ビューライン 市)					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	道路利用者の安心度の向上、実施箇所	箇所	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災・安全交付金事業(歩道整備)		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無		
事業概要	・通学路点検により要対策箇所となった箇所の歩道整備工事				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	50,300 千円	63,000 千円	82,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	27,665 千円	34,650 千円	45,100 千円	
	地方債	20,300 千円	25,515 千円	33,210 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,335 千円	2,835 千円	3,690 千円		
目的	通学路点検により通学路要対策箇所となった歩道整備を実施する。				
令和3年度の目標					
○市道0146号線(和田)歩道改良工事 L=23m ○市道0146号線(市)測量設計業務、歩道改良工事 L=180m					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	通学路の安全空間確保の向上、歩道改良延長	m	150	150	150
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
都市公園維持管理事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費		都市計画課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理 遊具点検 公園施設長寿命化計画の実施 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,337 千円	8,337 千円	8,337 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,965 千円	1,965 千円	1,965 千円	
	一般財源	6,372 千円	6,372 千円	6,372 千円	
目的	市民が安全で安心して暮らせる状態にするため、公園施設の安全性の確保や機能の保全、利用効果を最大限に発揮させるための物的条件の整備・維持を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 現行の維持管理水準を確保する。 公園施設長寿命化計画に基づき、施設の予防保全を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	職員による日常点検及び清掃	回	480	480	480
特記事項	専門業者による遊具定期点検	回	18	18	18
	【R3年度からの変更点】 ・公園クリーン活動関係を「景観まちづくり事業」へ移行 ・「あいおい公園」「大手門公園」の管理等については「中心拠点形成促進事業」へ移行				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
住宅管理費運営費		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・1住宅管理費		建設課	1:無		
事業概要	【運営費】 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅(768戸)を供給する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	59,877 千円	63,820 千円	63,820 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,930 千円	5,930 千円	5,930 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	48,947 千円	57,890 千円	57,890 千円	
	一般財源	5,000 千円	0 千円	0 千円	
目的	社会基盤を整備し市民の安全安心を確保するため、住宅に困窮する低所得者に対し低廉な住居を提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 施設の破損等に対し、迅速で確実な補修を行う。 計画修繕の実施(火災感知器改修工事) 囃団地2棟の外壁及び屋根の改修工事を行う。 市営住宅集約化に向けた取り組みを行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
住宅耐震化事業		継続	11		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・2住宅政策費		建設課	1:無		
事業概要	市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,800 千円	5,800 千円	5,800 千円	
	特定財源 国・県支出金	3,975 千円	3,975 千円	3,975 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,825 千円	1,825 千円	1,825 千円		
目的	社会基盤を整備し市民の安全安心を確保するため、今後予想される地震災害に対して、市民の防災意識の高揚と既存建築物の耐震性能の向上を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・精密耐震診断件数 20 件 ・耐震改修補助件数 4 件 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	精密耐震診断件数	件	20	20	20
	耐震改修事業補助件数	件	4	4	4
特記事項	建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律(耐震改修促進法)が平成25年11月25日に施行され、「全ての住宅・建築物に対して耐震診断・耐震改修を努力義務化」、「大規模な特定建築物、地震対策上特に重要な建築物に対して、耐震診断を義務化、結果公表」等、耐震化促進のための規制が強化された。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
特定空家対策事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・8土木費・4住宅費・3空家対策費		建設課	1:無		
事業概要	空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	290 千円	290 千円	290 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	290 千円	290 千円	290 千円		
目的	居住環境等の整備改善を図るため、空家等の対応を実施する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家等の解消を図るため、法に基づき行政指導を行う。 ・空家等所有者に対し、問題解決に向けた支援を行う。 ・空家対策協議会、空家対策連絡会の構成員との連携を強化する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	空家相談会の実施	棟	4	4	4
特記事項	小諸市空家等対策計画の見直しを行う。				

事務事業名				新規・継続		
土木総務費運営費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		8,077 千円	7,875 千円	7,875 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		823 千円	0 千円	0 千円
一般財源		7,254 千円	7,875 千円	7,875 千円		
事務事業名				新規・継続		
土木総務費給与費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		125,747 千円	125,747 千円	0 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		21,773 千円	0 千円	0 千円
一般財源		103,974 千円	125,747 千円	0 千円		
事務事業名				新規・継続		
単独公共土木施設災害復旧事業				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		50 千円	50 千円	50 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		50 千円	50 千円	50 千円		
事務事業名				新規・継続		
事務費運営費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・1事務費・1事務費・1事務費				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		9,099 千円	9,099 千円	9,099 千円
		国・県支出金		825 千円	876 千円	876 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		8,274 千円	8,223 千円	8,223 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
事務事業名				新規・継続		
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・1元金				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		324 千円	0 千円	0 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		324 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
事務事業名				新規・継続		
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・2利子				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		7 千円	0 千円	0 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		7 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
事務事業名				新規・継続		
予備費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・3予備費・1予備費・1予備費				建設課		
投入指標	特定財源	令和3年度		令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費		43,570 千円	43,570 千円	43,570 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		43,570 千円	43,570 千円	43,570 千円		

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は湧水と深井戸のみで、水量・水質共に安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進み更新が必要である。加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、対策を図る必要がある。

水源地や配水池など施設数が多く複雑化しており、維持管理における技術の継承など人材育成も図る必要があったため、公民共同企業体を設立し、指定管理者制度により一部の業務を委託した。

今後、人口減少問題等により料金収入の減少も見込まれ、施設の更新や浄化施設の新設とその財源確保が大きな課題となっている。

◆方針

目的
<p>小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。</p> <p>公民共同企業体「株水みらい小諸」へ指定管理制度により委託した一部業務を、厳格に業務管理を行うことで、水道水の安定供給と事業の継続的な安定経営を図るとともに使用者に適切な情報提供を行い、水道事業の理解度を深める。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画の実行
- ②小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、厳格な業務管理(モニタリング)の実施
- ③使用者に適切な情報提供の実施

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①小諸市上水道事業基本計画に基づく実施計画により計画的に施設の整備を行い、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェックや業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。</p> <p>②事業主体として小諸市水道施設等の指定管理者への厳格な業務管理(モニタリング)を行い、効率的な施設の維持管理が図れる状態。</p> <p>③適切な情報提供により、水道使用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	安定した水道水の供給に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、安定した水道水の供給ができています割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	83.5	計画	84.0	84.5	85.0	85.0	
		実績					
指標名	総収支比率						
設定理由	100以上が望ましく、計画的な経営ができていますか分かるから。						
算式	総収支比率(総収益/総費用)×100					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	117.8	計画	116	104	106	105	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、引き続き事業推進を図る。
 ②指定管理者「㈱水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、良好な運営が出来ているか事業主体として厳格なモニタリングを行う。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」
 自然豊かで安全なおいしい水道水を、水道法に基づいた水質管理を行いつつ、いつでもどこでも水道水を得られる環境を整備し、安定した供給を図る。

◆個別計画

地域防災計画/上水道事業基本計画/水道ビジョン/上水道事業実施計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸市水道事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
水道		上水道課	2:有		
事業概要	・小諸市水道事業				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,600,508 千円	1,415,190 千円	1,584,746 千円	
	特定財源 国・県支出金	9,515 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	343,200 千円	380,000 千円	490,000 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,247,793 千円	1,035,190 千円	1,094,746 千円	
目的	安全・安心な水を、安定的かつ安価に供給できるよう水道施設の適切な維持管理を行い、健全な財政運営を行うと共に、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市上水道事業実施計画により、計画的な施設更新等を進める。 ・小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」の業務状況について、厳格なモニタリングを行い、広報等により水道使用者への定着を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総収支比率	%	104	106	105
特記事項	管路更新率	%	0.3	0.3	0.3

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	危機管理課
関 連	生活環境課
関 連	消防課
関 連	市民課
関 連	
関 連	—

◆現状と課題

災害による被害を減らすため、市内68区に自主防災組織の設立を目指しているが、「共助」のための自主防災組織については、未だ組織化されていない行政区がある。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みが必要である。また、災害時の防災、減災のため、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団と自主防災組織との連携を強化していく必要がある。

高齢社会となるなかで、高齢者の交通事故が増えている。交通事故を減らす取り組みと併せて、高齢者に対する啓発活動を強化していく必要がある。

防犯については、犯罪の未然防止の役割を果たしている防犯カメラの設置や運用、LED防犯灯への切替や、耐用年数が10年と言われているLEDの交換時期の検討が必要である。

◆方針

目的
<p>地域全体で安全安心なまちをつくるため、関係機関との連携強化と住民意識の高揚を図り、すべての市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を進める。</p> <p>あらゆる災害に対応するため、佐久広域連合消防本部が行う消防・救急業務を支援するとともに、消防団活動の充実を図る。</p> <p>交通事故の発生件数を減らすため、関係機関・関係団体と連携し、啓発活動を推進していく。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練が自主的に行われるよう、住民の方々の認識の状況を確認しながら、様々な避難先の確保を促す周知・広報を行い、とるべき行動の効果的な理解の促進に努める。

交通事故の被害に逢いやすい子供や高齢者に向けて、関係機関と連携し交通安全教室を開催し、交通事故の予防を図る。

消防団や自主防災組織及び民間事業所も含め災害対応を行い、更なる連携の強化及び協力体制の構築を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①すべての地域で様々な手段により防災行政情報を入手でき、市民が避難方法や避難場所等を熟知して、防災・防犯意識が高まっている状態。</p> <p>②交通事故発生件数が減少し、かつ、交通死亡事故がゼロになり、安全で安心に暮らせる状態。</p> <p>③災害時に備え、地域において、自助・共助の理念のもと地域防災力の向上に積極的に取り組んでいる状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	防災への取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、防災施策が住民のニーズに沿って高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	71	計画	72.0	73.0	74.0	75.0	
		実績					
指標名	交通事故死者数						
設定理由	死亡事故がなくなれば、交通安全に関する啓発が適切に行われ、市民の安全が確保されていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	計画	0	0	0	0	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

68区全てにおいて自主防災組織の組織化及び継続した取り組みが行われることを目指し、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みを進める。

交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係機関と連携し交通安全啓発活動を実施する。

引き続き団員確保に向けた取り組みを進めるとともに、研修会・各種訓練を積極的に行うことにより、消防団員の災害対応能力向上に繋げる。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール3 「すべての人に健康と福祉を」

近年、子どもや高齢者が絡む交通事故の割合は多くなっているため、市民や関係団体などと連携し、交通安全運動を推進することにより、交通事故のない安全で快適な社会の実現を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら、特に支援を要する者を守るための防災対策の充実を図る。

◆個別計画

地域防災計画／国土強靱化地域計画／交通安全基本計画

◆特記事項

--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防犯事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 区等の要望に基づく防犯灯のLED灯への切り替え及び防犯灯電気料への補助 区等による小諸市安全で安心なまちづくり事業(防犯活動等)に係る経費への支援 防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,841 千円	21,856 千円	21,860 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	21,841 千円	21,856 千円	21,860 千円	
目的	地域の安全・安心の確保の取り組みを推進し、市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 区から要望される防犯灯のLED灯への切替えについて現地調査を行ない、優先度が高い防犯灯の切替え工事を実施する。 警察等と連携し、防犯等に係る事項について広報誌等を活用した啓発を行う。 安全で安心なまちづくり事業補助金等を適正に交付し、地域の安全・安心の確保の取り組みを支援する。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	100W以上の既設防犯灯等のLED灯への切替数	基	20	20	20
	安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発回数	回	4	4	4
特記事項	活動指標(アウトプット)について、「既存防犯灯に占めるLED防犯灯の割合」を、消費電力の高いものを一定以上切替えていくために、令和3年度から「100W以上の既設防犯灯のLED灯への切替数」に変更。 「設置基準に基づく防犯灯の設置率」は、令和3年度からセーフコミュニティ推進事業を廃止して統合された安全・安心の取組みに係る「安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発回数」に変更				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災対策費運営費		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	2:有		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画、業務継続計画の見直し、修正 総合防災訓練の年1回の実施 全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、住民支え合いマップ作成・更新の推進 防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進 防災対策用備蓄品の備蓄推進 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	7,713 千円	8,066 千円	8,066 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	7,713 千円	8,066 千円	8,066 千円	
目的	災害等から市民の生命、身体及び財産を守るため、自助、共助、公助に係る意識啓発や体制整備等を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 全68区での自主防災組織の設立・運営の支援を行うとともに、防災講演会、研修会、学習会を継続的に開催し、「自助」「共助」による地域防災力の向上を図る。 避難所運営に必要な防災対策用品(食料、資器材等)の備蓄を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合防災訓練の実施	回	1	1	1
	自主防災組織を設立した区の数	区	63	64	65
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
防災情報基盤整備・運用事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	1:無		
事業概要	・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	12,556 千円	11,146 千円	11,126 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	600 千円	600 千円	600 千円	
一般財源	11,956 千円	10,546 千円	10,526 千円		
目的	安全で安心な暮らしの実現を図るため、防災情報が市民への確かつ迅速に伝達できるよう整備を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報伝達設備の定期的な点検・保守管理を行い、防災情報を市民への確かつ迅速に伝達する。 ・アナログ放送終了に伴う代替手段の実施準備を進める。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	防災情報関連機器の点検実施		実施	実施	実施
特記事項	アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
交通安全対策事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動の実施 ・小諸市交通安全運動推進協議会の運営 ・小諸交通安全協会への負担金の交付 ・交通安全教室の開催 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,606 千円	1,616 千円	1,616 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,606 千円	1,616 千円	1,616 千円		
目的	交通事故のない安全で安心な暮らしを実現するため、小諸市交通安全運動推進協議会を中心に関係団体等と連携し、交通安全運動に取り組む。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・警察署をはじめとした関係団体等と連携して、季別の交通安全運動期間を中心に交通安全運動を実施する。 ・高齢者及び子どもを対象に、質の高い記憶に残る交通安全教室を実施する。特に高齢者に対しては高齢者支援関係者等と協力し、具体的な啓発につながる教室の展開を目指す。 ・小諸市における交通安全運動をさらに充実させるため、小諸交通安全協会との連携を強化する。 ・次期交通安全計画の策定に向けた検討を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小諸市における年間交通事故死者数	人	0	0	0
特記事項	小諸市における運転免許自主返納者数(警察署年統計)				
		人	160	170	180

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
県民交通災害共済事務		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県民交通災害共済への市民の加入促進 ・交通事故被害者への見舞金の支給 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,284 千円	2,292 千円	2,292 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,774 千円	1,820 千円	1,820 千円	
	一般財源	510 千円	472 千円	472 千円	
目的	交通事故被害者の経済面での救済を行い、事故からの立ち直りを支援するため、県民交通災害共済への加入を促進し、被災時に見舞金の支払いを行う。				
令和3年度の目標					
共済事業ならではのメリットである掛金に対する見舞金の高率さをPRし、加入を促進する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	県民交通災害共済加入率	%	66	66	66
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
市民相談事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民法律相談の実施 ・市民相談の実施 (無料法律相談、職員による相談) 				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	564 千円	564 千円	564 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	564 千円	564 千円	564 千円	
目的	日常生活で発生する様々なトラブルや不安などの相談に応じ、市民生活上で生じる問題の解決を支援する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・広報等を通じて弁護士による無料法律相談を周知する。 ・各種相談機関と連絡調整を行い、他の機関が実施する相談会等を周知する。 ・その他、日常生活上の相談に応じ助言を行う。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市民法律相談利用率	%	90	90	90
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
消費者行政事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無		
事業概要	消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,239 千円	2,239 千円	2,239 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,195 千円	1,195 千円	1,195 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	1,044 千円	1,044 千円	1,044 千円	
目的	消費生活の安全・安心を実現するため、消費者トラブルの被害防止に取り組み、消費生活上で生じる様々な不安を解消する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員が市民からの悪質商法の相談に応じ、対処方法を助言し、被害軽減のためのあっせんを行う。 ・新たな手口について、広報やホームページへの掲載などを行い、市民向け注意喚起を行う。 ・高齢者の被害防止のため、見守りや支援をする人々への啓発や協力要請等を行うとともに若年層に対しても教育委員会等と連携し、消費者教育の啓発を行う。 ・複雑化、高度化する悪質商法等に対応するため、専門相談員、担当職員の研修の充実を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相談員相談日数	日	160	160	160
	被害防止等啓発件数	件	25	25	25
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
佐久広域連合負担金		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・1常備消防費		消防課	1:無		
事業概要	佐久広域連合規約により消防施設の設置及び管理に関する事務について、関係市町村が負担割合により負担する市町村分担金。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	359,124 千円	359,101 千円	359,101 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	4,500 千円	4,689 千円	0 千円	
	一般財源	354,624 千円	354,412 千円	359,101 千円	
目的	複雑・多様化かつ大規模広域化する災害から、地域住民の生命・身体・財産を守り、被害を軽減するため、消防施設等の機能更新や効果的な消防活動の展開と予防行政及び救急救助体制の充実強化など総合的な消防体制の整備を行う。				
令和3年度の目標					
<ol style="list-style-type: none"> ①大規模災害に対応するため、消防団や防災団体及び民間企業を含めた広域的な訓練を実施し、連携・協力体制を強化する。 ②専門的な知識や高度な技術を修得するため、消防大学校や県消防学校等の研修機関へ積極的に職員を派遣する。 ③住民に対する救急救命講習や消防訓練等の各種講習会を開催し、救命率の向上と防災意識の高揚を図る。 					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
非常備消防費運営費		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・2非常備消防費		消防課	1:無		
事業概要	消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関、小諸市消防団の運営・管理に関する事業。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	69,284 千円	87,000 千円	69,238 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	7,441 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	61,843 千円	87,000 千円	69,238 千円		
目的	地域の消防防災体制の中核的役割を果たす消防団の円滑な運用を図る。また、地域防災力の向上を図るため、地域に密着する消防団の機能充実にに向けた維持管理を行う。				
令和3年度の目標					
①団員の確保について、消防団の知名度・イメージアップを図り、興味を喚起することと併せて、多様な人材を確保するための働きを強化する。 ②各種訓練指導、イベントなどで住民と接する機会や広報媒体を最大限に活用し魅力ある消防団のPRを行う。 ③大規模災害を想定し、他防災団体も含めた連携訓練や、個々の分団が地域の実情に即した訓練を実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	消防団員数	人	850	850	850
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
消防施設費運営費		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課	1:無		
事業概要	消防組織法に基づく小諸市消防団の施設及び各区の消防施設整備に関する事業。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,950 千円	15,500 千円	15,500 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	5,800 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,150 千円	15,500 千円	15,500 千円		
目的	・消防団の装備・地域の消防施設の充実強化。				
令和3年度の目標					
・小型動力消防ポンプ1台の更新(第6分団3部) ・小型動力消防ポンプ積載車1台更新(第2分団4部) ・消防施設補助事業に対して補助金の交付。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小型動力消防ポンプ更新数	台	1	1	1
	小型動力ポンプ積載車更新数	台	1	1	2
特記事項					